

各関係機関長 様

名古屋市立大学 データサイエンス学部（仮称）開設準備室長  
三澤 哲也（公印省略）

専任教員の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、本学では、令和5年4月に開設予定のデータサイエンス学部（仮称）（令和4年3月認可申請予定）の専任教員を下記の要領で公募することになりました。

本学は、医学、薬学、経済、人文社会、芸術工学、看護、理学の7学部・7研究科を有する総合大学です。本学のデータサイエンス学部は、これら7学部・7研究科との連携を密にして、数理統計学、情報工学を学問基盤としたデータサイエンスの専門知識・技術を駆使し、学際分野におけるデータ活用が実践できる専門家を養成します。

医療、経済・経営、情報分野において、データサイエンスとビッグデータを活用して、社会的課題を解決できる人材を育成します。また、中部圏の産業界、経済界、行政等に対して、AI、データサイエンスの先端的研究力で貢献できる研究拠点形成を目指します。

つきましては、貴学関係の方に広くご案内を賜りますようよろしくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存じであれば、本件をお知らせいただくと幸甚に存じます。

敬具

記

- 1 所属 名古屋市立大学データサイエンス学部（仮称）
- 2 募集人員 別表に示す12分野ごとに、教授、准教授、または講師いずれか1名計12名
- 3 担当系統・分野・科目 別表に記載のいずれかの系統・分野・科目の教育、研究指導を担当。  
※希望する分野を示した書類を添付のこと。なお、複数分野（最大3分野）への応募も可とする。複数分野への応募を希望する場合は、「5 提出書類」(1)から(8)の書類を希望する分野ごとに分けて提出すること。ただし、複数分野への応募を希望する場合は、希望する分野の順位が分かるように明記すること。（A4用紙縦、様式任意）
- 4 応募資格 (1) 博士の学位を有する者（見込みも含む）、またはそれと同等の研究業績を有する者。  
(2) 大学教育もしくは同等の教育経験（企業における教育経験等）を有する者。  
(3) 別表における応募系統・分野で、一定水準以上の研究業績を有する者。

- (4) 別表の応募分野の担当科目に加えて、情報処理関連科目（プログラミングあるいは情報リテラシー関連科目）、PBL 演習、卒業研究の指導ができる者。
- (5) 全学及び教養教育でのデータサイエンス教育に貢献できる者。
- (6) 大学運営及び地域社会貢献にかかわる業務に従事できる者。
- (7) 学部完成年度後の大学院博士前・後期課程の設置も検討している。そのため、学生（博士前期・後期課程）の研究指導ができることが望ましい。  
※なお、実務経験者の応募も歓迎します。

5 提出書類

- (1) 履歴書 1 通（本学様式／写真貼付のこと。）
- (2) 業績書 5 部（本学様式／記入要領を参考のうえ、必要事項をもれなく記載のこと。）
- (3) 主要な著書・論文（5 点以内、コピー可、それぞれ 200 文字程度で概要を記載のこと。）各 5 部
- (4) これまでの研究・教育内容の概要（A4 用紙 2 枚以内）5 部
- (5) 着任後の研究・教育・学務への抱負（A4 用紙 2 枚以内）5 部
- (6) 照会可能な方 2 名以上の氏名・所属・連絡先 1 通（A 4 用紙縦、様式任意）
- (7) 希望する系統及び分野を示した書類 1 通（A 4 用紙縦、様式任意）
- (8) 希望する職位（教授、准教授または講師）を示した書類 1 通 ※  
※特に希望する職位があれば、それを示した書類を提出すること。採用する職位は希望に添えない場合がある。なお、希望職位以外の職位となる場合でも採用を希望する場合はその旨を記載すること。

6 応募期間

令和 3 年 7 月 6 日（火）～ 令和 3 年 8 月 5 日（木）（当日消印有効）

7 採用時期

令和 5 年 4 月 1 日（予定）

正式採用にあたっては、当該学部の設置が文部科学省から認められることが前提条件となります。なお、令和 5 年 4 月の開設に向けて構想中の名古屋市立大学データサイエンス学部（仮称）の専任教員となりますので、大学設置・学校法人審議会における審査の結果をもとに採否を決定します。また、令和 9 年 3 月 31 日まで（学部完成年度まで）の勤務を確約できる方に限ります。

8 任期・待遇

任期無し。本学専任教員の定年年齢は 65 歳です（ただし、学部の完成年度まで定年を延長する場合があります）。なお、雇用形態は裁量労働制です。

9 選考方法

選考の過程で、面接、プレゼンテーション、追加の資料提出等をお願いすることがあります。交通費は自費でお願いします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、インターネットでの面接、プレゼンテーション等をお願いすることがあります。

10 書類提出先

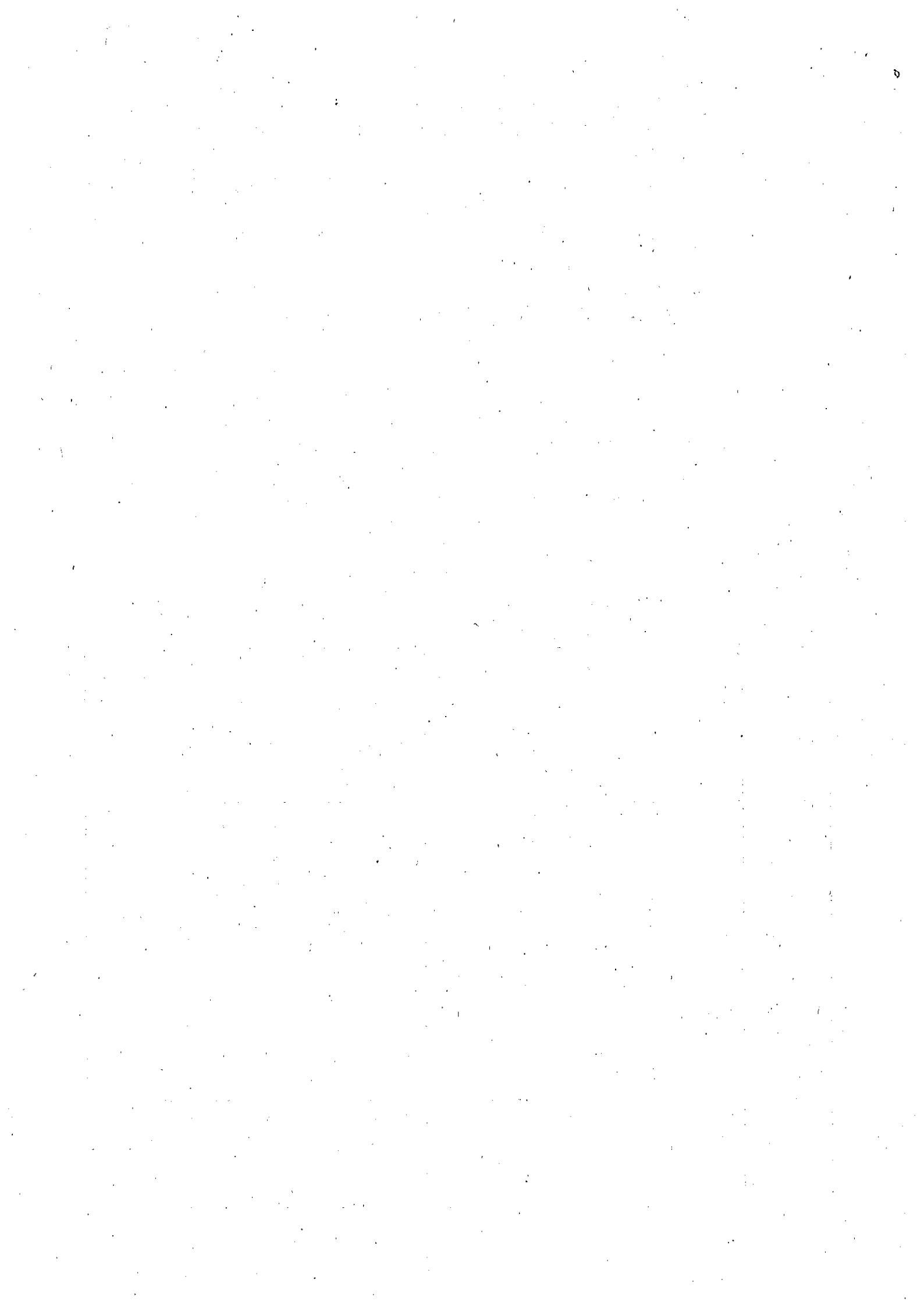
〒467 - 8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1 番地  
名古屋市立大学 山の畑事務室内データサイエンス学部（仮称）開設準備室 宛

11 問い合わせ先 名古屋市立大学 山の畑事務室 Email: ncu-ds@sec.nagoya-cu.ac.jp  
 ※照会事項は、原則として上記のEmailアドレスにお送りください。

- 12 その他
- (1) 書類は書留とし、表に「データサイエンス学部（仮称）専任教員応募書類 在中」と朱書きしてください。
  - (2) 応募書類は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は宛名を記載した返信用封筒に切手を貼付し、同封してください。
  - (3) 採用後は、名古屋市またはその周辺での居住を基本とします。
  - (4) 本学は「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を期待しています。
  - (5) 本学は敷地内禁煙を実施しており、教職員にはこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力いただいております。
  - (6) 本学ではすべての教員が全学教育に従事しています。
  - (7) 日本語および英語による講義が可能な方の応募を期待します。
  - (8) データサイエンス学部（仮称）の認可申請の手続きに必要な書類の作成をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。
  - (9) 文部科学省の認可後に定期的に準備会議を行う予定をしておりますので、予めご了承ください。
  - (10) 本学データサイエンス学部（仮称）のURLは、以下をご参照ください。  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/data-science/>

(別表) ※本学部の教員組織は学科目制です。

系統	分野	主な専門科目
A 応用統計系	1 統計科学・応用機械学習、社会医療情報	AI・機械学習、社会医療情報
	2 応用統計学、データ調査	実験計画法、データ調査法、医療統計
	3 モデリング・計算機シミュレーション	計算機シミュレーション、数理モデル
B 経済・経営系	4 財務データ分析、財務会計	財務諸表と経営分析、財務分析
	5 経済理論	ミクロ経済学、マクロ経済学
	6 応用ベイズ統計学	ベイズ統計の基礎と応用、多変量解析、計量経済学
C 保健医療情報系	7 医療情報学、医療系モデルシミュレーション	臨床医療情報学、モデルシミュレーションとビッグデータ活用
	8 保健情報学	保健情報学、ビッグデータ活用、データマイニング
	9 データマイニング、レギュラトリーサイエンス	レギュラトリーサイエンス、ビッグデータ活用、データマイニング
D 情報工学系	10 AI・深層学習、知能情報学	AI・深層学習、知能情報学関連科目
	11 テキストマイニング、パターン認識	テキストマイニング、パターン認識
	12 情報数学	情報数学関連科目





資格・免許 (国家資格、学会認定資格、その他免許等を記入)

名称 (国家資格については登録番号を記載)	取扱機関	取得年月日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日

所属学会 (学会名と役職があれば( )内に記入)

賞 罰 (賞の名称、受賞題名、及び授与機関名等を記入)

研 究 テ ー マ

下記の事項の該当、非該当を○で囲む

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| 1. 禁錮以上の刑に処せられた者   | 該 当 | 非該当 |
| 2. 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 | 該 当 | 非該当 |

上記のとおり相違ないことを誓約します。

令和 年 月 日

氏 名

印

公立大学法人名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎 様

# 履 歴 書

①  
写真貼付  
裏面に氏名を記入  
して下さい。

ふりがな	しだい はなこ			男・ ②
氏 名	②市大 花子			
生年月日	昭和 56 年 7 月 △ 日 (満○歳)	E-mail	hanako@shidai.ne.jp	
ふりがな	なごやしみずほく△△ちよう こーぼさくらやま			
現住所	③ 〒○○○-△△△△ 名古屋市瑞穂区△△町□□-×× コーポ桜山 101 号室			Tel ○○○-○○○ -○○○○
連絡先	④ 現住所に同じ			Tel(携帯電話等) ○○-○○-○○
就職後の住所	⑤ 現住所に同じ			Tel —

⑥ 学 歴	学 校 名	学 部 ・ 学 科 名	期 間	制 度	該 当 を 囲 む
	名古屋市立○○高等学校	普通科	平成 9 年 4 月 1 日から 平成 12 年 3 月 31 日まで	3 年	◎・修・退 卒見込・修見込
	○○大学	医学部医学科	平成 13 年 4 月 1 日から 平成 19 年 3 月 31 日まで	6 年	◎・修・退 卒見込・修見込
	○○大学院	医学研究科 博士課程	平成 22 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで	4 年	卒・◎・退 卒見込・修見込
			年 月 日から 年 月 日まで	年	卒・修・退 卒見込・修見込
			年 月 日から 年 月 日まで	年	卒・修・退 卒見込・修見込
		年 月 日から 年 月 日まで	年	卒・修・退 卒見込・修見込	

⑦ 学 位	学 位 名 称	博士(医学)	学 位 記 番 号	第 701 号	授 与 大 学	名古屋市立大学	授 与 年 月 日	平成 21 年 3 月 25 日 年 月 日

⑧ 職 歴	期 間	勤 務 先	所 在 地	職 務 内 容
	平成 12 年 4 月 1 日から 平成 13 年 3 月 31 日まで	○○塾		予備校生
	平成 19 年 4 月 1 日から 平成 21 年 3 月 31 日まで	名古屋市立□□医療センタ ー	名古屋市千種区	臨床研修医
	平成 21 年 4 月 1 日から 平成 22 年 3 月 31 日まで	△△市民病院	愛知県△△市	内科医師
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 28 年 6 月 30 日まで	●●大学 ☆☆研究所	米国フロリダ州	博士研究員
	平成 28 年 7 月 1 日から 平成 28 年 7 月 31 日まで	在宅(理由を記載)		
	平成 28 年 8 月 1 日から 年 月 日まで 現在まで	国立大学法人▲▲大学	名古屋市千種区	助教
	年 月 日から 年 月 日まで			
	年 月 日から 年 月 日まで			
	年 月 日から 年 月 日まで			

⑨ 資格・免許 (国家資格、学会認定資格、その他免許等を記入)

名称 (国家資格については登録番号を記載)	取扱機関	取得年月日
医師免許(医籍登録第 123456 号)	厚生労働省	平成 19 年 5 月 30 日
日本〇〇科学会指導医	日本〇〇科学会	平成 28 年 9 月 15 日
日本△△△科学会認定医	日本△△△科学会	平成 29 年 12 月 11 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日

⑩ 所属学会 (学会名と役職があれば( )内に記入)

日本〇〇科学会(正会員 平成 19 年入会、評議員 平成 24 年、指導医 平成 28 年取得)  
 日本△△△科学会(正会員 平成 21 年、認定医 平成 29 年取得)

⑪ 賞 罰 (賞の名称、受賞題名、及び授与機関名等を記入)

.....

⑫ 研 究 テ ー マ

.....

⑬ 下記の事項の該当、非該当を○で囲む。

- 禁錮以上の刑に処せられた者 該 当  非該当
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 該 当  非該当

上記のとおり相違ないことを誓約します。

⑭ 令和 年 月 日

氏名 市大花子

公立大学法人名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎 様



## <履歴書記入要領>

- ① 写真の裏に 氏名を記入したうえで貼付
- ② 氏名欄：住民票に記載されている字を記入
- ③④⑤

現住所：住民票上の住所を記入。省略不可。正確な住所を記入

連絡先：現住所と同じ場合は「現住所と同じ」と記入

※下宿していて実家に住民票がある場合は、現住所→実家住所 連絡先→下宿住所 を記入

下宿していて下宿に住民票がある場合は、現住所→下宿住所 連絡先→実家住所 を記入

※実家、下宿の別が分かるように、記入した住所の後ろに（実家）、（下宿）と記入

※翌年3月まで本学から採用関係の書類等を送付します。確実に受け取れる送付先に○をつける  
就職後の住所：現時点で分かっている場合は、その住所を記入。そうでない場合は「未定」と記入

現住所、連絡先と同じ場合は、「現住所と同じ」「連絡先と同じ」と記入

### ⑥学歴欄：

1. 学校教育法に基づくものを記入
2. 高校から記入
3. 転校、転学の場合、前後の期間を記入→欄外に「転校」「転学」と記入
4. 正式名称（私立、〇〇県立など）を記入
5. 入学年月日、卒業年月日がわからない場合には4/1、3/31としてよい
6. 今年度末に退学予定の場合には「退学見込」と欄外に記入
7. 「制度」欄は正規の修学年数を記入

### ⑦学位欄：学位（修士及び博士）、学位記番号、授与大学、授与年月日を記入

取得見込の場合は、授与年月日に「見込」と記載

### ⑧職歴欄：

1. 留学、予備校は職歴欄に記入
2. 学歴欄に属する期間におけるアルバイトは除く
3. アルバイトは継続的なもののみ記入
4. 夜間学校に通っていた場合には、その間の職歴を記入
5. 現在まで継続している場合には、「現在まで」と記入
6. 「所在地」欄は、勤務地の住所を記入  
※転勤している場合：勤務先は1行とし、所在地欄に複数記入
7. 在宅期間は、「勤務先」欄に「在宅」と記入（職歴が多く、欄に入りきれない場合は、在宅期間は省略してよい）

### \*⑥学歴欄・⑧職歴欄 共通事項

1. 和暦（平成〇年、昭和〇年）で記入
2. 年次順に上から記入
3. 学歴欄、職歴欄をあわせ空白期間がないように記入

### ⑨資格・免許欄：国家資格（登録番号も記載）、学会認定資格、その他免許等を記入（取得見込含む）

ただし、英検は、2級以上とする

### ⑩所属学会欄：学会名と役職があれば（ ）内に記入

### ⑪賞罰欄：賞の名称、受賞題名及び授与機関名等を記入

### ⑫研究テーマ欄：研究テーマを記入

### ⑬欠格条項欄：該当・非該当いずれかに○をつける

### ⑭日付、氏名（住民票の字を記入）、押印（忘れないように）



# 業績目録

氏名

## 1 論文等業績

①原著論文

②著書

③総説

④その他

## 2 学会発表

## 3 研究費獲得実績

## 4 教育実績

5 実務の経験を有する者についての特記事項

6 特許

7 社会貢献

8 大学（学部）運営等

9 その他特記事項

## 業績目録 記入要領

### 【1】業績作成要領（様式任意/A4 縦・11 ポイント程度で作成）

#### 1 論文等業績

論文等業績は原著論文、著書、総説、その他に分類し、かつ欧文・和文に群別した上で、それぞれ新しいものから順に番号を付して記載する。著者名は原文の順に共著者名もすべて記載し、本人の名前に下線を付す。

##### ① 原著論文

査読審査を経たものと経てないものを分けて記載する。学会抄録は含めない。著者名、論文の題名、雑誌名、巻：初頁-終頁、発行年（西暦）の順に記載する。責任著者の場合は「CA (corresponding author)」または「\*」を記載する。掲載論文誌について、インパクトファクターがある場合は、最新のものを記載すること。

##### ② 著書

著者名、論文名（分担執筆の場合）、書名、編集者・監修者名、発行所名（出版社名）、初頁-終頁、発行年（西暦）の順に記載する。共著の場合は本人分担部分を明記すること。

##### ③ 総説

記載方法は原著論文に準ずる。

##### ④ その他

上記の分類に該当しないが重要な業績と思われるもの（主要な国際・国内学会抄録、翻訳、研究報告書、受賞記念論文集など）について記載する。記載形式は原著・著書に準ずる。

#### 2 学会発表

国際、国内に区分し最近のものから順に番号を付して記載する。演者名は原文の順に共同演者も含めて記載し、本人の名前に下線を付す。

演者名、演題名、シンポジウムなどでは主題名、学会名、発表年（西暦）、開催地の順に記載する。

ただし、国際、国内合わせて 20 編までとし、それ以上ある場合は、他〇編と記載する。招待講演の場合、その旨記載すること。

#### 3 研究費獲得実績

最近のものからこれまでに取得した公的機関あるいは民間の研究助成団体からの助成金について、助成年、種別、研究題目名、代表・分担、金額（単位万円）を記載する。文部科学省科学研究費は種目名（基盤 B など）を記載する。代表の場合は班全体の金額と本人の受領分を、分担の場合は本人の受領分を記載する。数年にわたる場合は総額を記載する。企業等との受託研究、共同研究の主要なものについて、企業名、金額（単位万円）を記載する。

#### 4 教育実績

担当授業名（または講義・実習等の実時間数）、ゼミ・研究指導学生数（学士、修士、博士の課程別）、教科書の編修・執筆、優れた教育指導方法の実践、学生の学修促進や就職支援のための取組などを記載する。非常勤講師は、大学名・担当授業名（または講義・実習等の実時間数）を記載する。

#### 5 実務の経験を有する者についての特記事項

実務歴・臨床歴を有する方は、企業・施設等において専門職として従事（実施プロジェクトの内容と役割、教育・研修・指導・講演等）した実務歴・臨床歴の内容・実績について記載する。

#### 6 特許

特許については、発明の名称、発明者、特許出願人、出願番号（国際特許出願の場合にはその旨を明記。公開前の場合には出願番号のみでも可。）を記載する。

#### 7 社会貢献

学外組織の委員や一般向けの講演、広報物への執筆等、社会貢献活動を記載する。従事内容、従事時期を記載する。

#### 8 大学（学部）運営等

在籍している（していた）大学・病院等において、学内・院内の委員等、大学・病院運営への貢献について記載する。

在籍している（していた）機関が大学・病院以外の場合は、所属機関において、その運営にどのように貢献してきたかを記載する。

それぞれ従事内容・従事時期を記載する。

#### 9 その他特記事項

その他特筆すべきことがあれば記載する。